

第160期 中間報告書

2023年4月1日～2023年9月30日



株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2023年度上期は、セメントや化学品の販売価格修正とヘルスケア関連製品の堅調な販売の一方で、半導体市場の減速に伴う半導体関連製品の販売減とクロロアルカリ製品の海外市況の悪化を受け、売上高は前年同期並みの1,661億円となりました。営業利益は、昨年来の原燃料価格高騰の影響が残る中で電子分野の販売低迷がありました。各種製品の販売価格修正に努め、前年同期比3%増の85億円となりました。

当社グループは「中期経営計画2025」において、電子・健康・環境を成長事業と位置づけ、価値創造型企業への転換に注力しています。将来的に需要増加が確実視される半導体用高純度多結晶シリコンについては、マレーシアにおいて韓国OCI社との製造合弁会社設立の検討を進めています。健康分野では、5月に(株)トクヤマ

デンタルの鹿島工場で生産能力倍増に着手し、24年10月の営業運転開始を予定しています。環境分野では、9月に廃石膏ボードのリサイクル事業の第三拠点として、(株)トクヤマ・チヨダジプサムの室蘭工場が営業を開始しました。

2023年度通期の業績予想については、半導体市場の回復時期の遅れや事業環境を鑑み、売上高を250億円減の3,550億円に修正しましたが、営業利益は300億円に据え置きました。成長事業の拡大や脱炭素への対応のために引き続き投資を進めますが、中間配当は、予定どおり35円を実施いたします。期末配当も35円とし、年間で70円を予定しております。

今後も「中期経営計画2025」の目標達成にむけ、事業ポートフォリオ転換などの重点課題に着実に取り組んでまいります。株主の皆様におかれましては、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

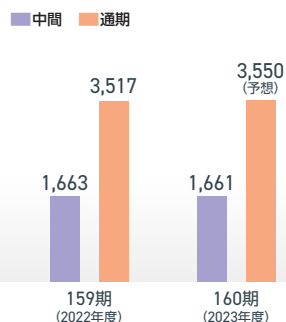


2023年12月

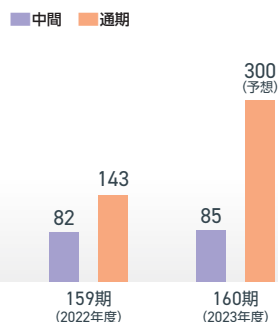
株式会社トクヤマ
代表取締役
社長執行役員

横田 浩

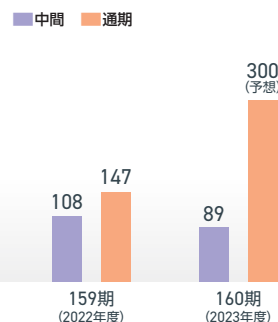
売上高 (億円)



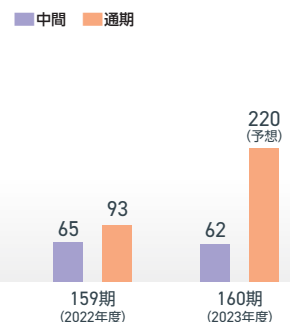
営業利益 (億円)



経常利益 (億円)



親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (億円)





化成品

売上高 **558億5百万円** (前年同期比 **3.4%減**)

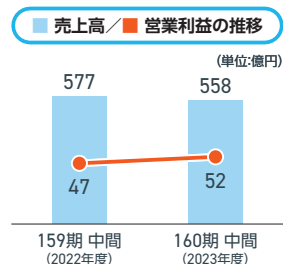


苛性ソーダは、販売数量は減少したものの、国内の販売価格修正を進めたことにより、増益となりました。

塩化ビニルモノマー及び塩化ビニル樹脂は、海外市況の影響を受け、減益となりました。

ソーダ灰及び塩化カルシウムは、販売数量は減少したものの、販売価格修正を進めたことにより、増益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は558億5百万円(前年同期比3.4%減)、営業利益は52億54百万円(前年同期比10.5%増)で減収増益となりました。



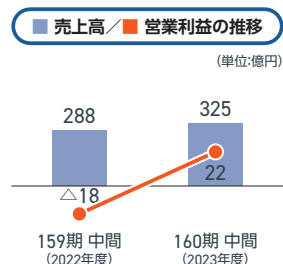
セメント

売上高 **325億73百万円** (前年同期比 **12.9%増**)



セメントは、国内出荷は前年同期比で微減となったものの、販売価格修正を進めたことにより、損益が改善しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は325億73百万円(前年同期比12.9%増)、営業利益は22億61百万円(前年同期は営業損失18億11百万円)となりました。



電子先端材料

売上高 **359億18百万円** (前年同期比 **13.1%減**)



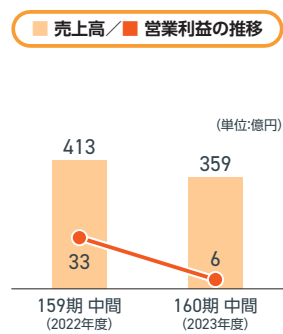
半導体向けの多結晶シリコンは、販売価格修正を進めたものの、半導体市場の減速により販売数量が減少し、減益となりました。

ICケミカルは、半導体市場の減速により販売数量が減少したものの、原料コストの減少等により収益が改善しました。

乾式シリカは、半導体市場の減速や中国の景気低迷により販売数量が減少し、減益となりました。

放熱材は、半導体市場の減速により販売数量が減少したものの、販売価格修正を進めたことにより、前年同期並みの業績となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は359億18百万円(前年同期比13.1%減)、営業利益は6億25百万円(前年同期比81.4%減)で減収減益となりました。



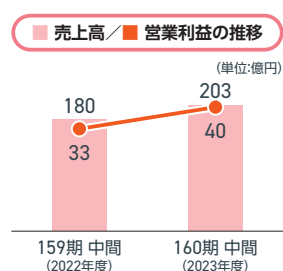
ライフサイエンス — 売上高 **203億56百万円** (前年同期比 **13.0%増**)



歯科器材は、国内外の出荷が堅調だったこと等により、増益となりました。医薬品原薬・中間体は、ジェネリック医薬品向けの販売数量が増加したことにより、増益となりました。

プラスチックレンズ関連材料は、メガネレンズ用フォトクロミック材料の販売が堅調に推移し、前年同期並みの業績となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は203億56百万円(前年同期比13.0%増)、営業利益は40億73百万円(前年同期比22.8%増)で増収増益となりました。



環境事業

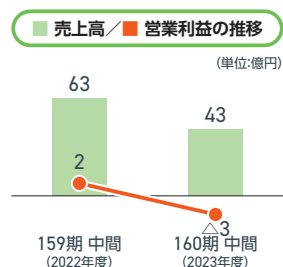
売上高 **43億41百万円** (前年同期比 **31.5%減**)



イオン交換膜は、出荷が減少したことにより、減益となりました。

廃石膏ボードリサイクルは、廃石膏ボード収集量の減少等により、減益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は43億41百万円(前年同期比31.5%減)、営業損失は3億7百万円(前年同期は営業利益2億98百万円)となりました。



連結貸借対照表

(百万円)

科目	前連結 会計年度 2023年3月31日	当第2四半期 連結会計期間 2023年9月30日
資産の部		
流動資産	253,689	223,796
固定資産	224,653	235,505
資産合計	478,342	459,301
負債の部		
流動負債	88,244	120,911
固定負債	148,495	90,254
負債合計	236,739	211,165
純資産の部		
株主資本	217,880	220,987
その他の包括利益累計額	11,569	16,318
非支配株主持分	12,151	10,829
純資産合計	241,602	248,135
負債純資産合計	478,342	459,301

連結損益計算書

(百万円)

科目	前第2四半期 連結累計期間 自2022年4月 1日 至2022年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 自2023年4月 1日 至2023年9月30日
売上高	166,370	166,105
売上原価	120,528	120,704
売上総利益	45,842	45,401
販売費及び一般管理費	37,545	36,824
営業利益	8,296	8,576
営業外収益	5,642	3,122
営業外費用	3,068	2,736
経常利益	10,870	8,962
特別利益	138	703
特別損失	295	227
税金等調整前四半期純利益	10,713	9,438
法人税、住民税及び事業税	4,140	3,314
四半期純利益	6,572	6,123
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	7	△104
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,565	6,228

連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

	前第2四半期連結累計期間 自2022年4月1日至2022年9月30日	当第2四半期連結累計期間 自2023年4月1日至2023年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	349	38,671
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,270	△14,255
財務活動によるキャッシュ・フロー	31,792	△31,937
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,127	1,240
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	16,998	△6,280
現金及び現金同等物の期首残高	82,496	67,556
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	△27
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	21	0
現金及び現金同等物の四半期末残高	99,516	61,249

TOPICS

2023.8.22

農業法人トクヤマゆうゆうファーム竣工

障がい者雇用の創出を目的に設立された農業法人トクヤマゆうゆうファーム(山口県柳井市)が竣工しまし



リーフレタスの栽培施設

た。施設の面積は、東棟10,584㎡、西棟3,960㎡。年間約500万株のリーフレタスを生産し、西日本地区で販売しています。

2023.11.1

トクヤマ・チヨダジブサム室蘭工場開所式

廃石膏ボードリサイクル事業の第3拠点として、トクヤマ・チヨダジブサム室蘭工場が営業運転を開始し、11月1日に開所式を開催



開所式祝賀会の模様

しました。本事業を通じて、北海道の廃石膏ボードのリサイクル比率の向上に貢献します。

会社概要

商号	株式会社トクヤマ(英文表記:Tokuyama Corporation)
創立	1918年2月16日
本社	〒745-8648 山口県周南市御影町1-1 TEL.0834-34-2000
資本金	100億円
ホームページ	https://www.tokuyama.co.jp/

役員体制

取締役	代表取締役	横田 浩	化成品、セメント、電子先端材料、先進技術事業化センター、監査 担当
		杉村 英男	経営企画、CSR、総務人事、購買・物流、秘書、デジタル統括、カーボンニュートラル戦略 担当
	取締役	岩崎 史哲	ライフサイエンス、ニュービジネス、研究開発、鹿島工場 環境安全 担当
		井上 智弘	環境事業、徳山製造所 担当
	取締役監査等委員	宮本 陽司	監査等委員長
		河盛 裕三	社外取締役
		水本 伸子	社外取締役
		石塚 啓	社外取締役
		近藤 直生	社外取締役
執行役員	社長執行役員	横田 浩	
	専務執行役員	杉村 英男	経営企画本部長
	常務執行役員	岩崎 史哲	研究開発本部長 兼 ニュービジネス本部長
		谷口 隆英	セメント部門長
		西原 浩孝	化成品部門長
		井上 智弘	環境事業部門長 兼 セメント部門 副部門長
	執行役員	藤本 浩	購買・物流部門長
		田村 直樹	ライフサイエンス部門長
		佐藤 卓志	総務人事部門長
		奥野 康	徳山製造所長
		関 道子	CSR推進本部長
		長瀬 克己	電子先端材料統括本部長 兼 先端材料部門長
		坂 健司	デジタル統括本部長 兼 DX推進グループリーダー
		伊藤 剛史	経営企画本部 副本部長
		寺西 誠治	電子材料部門長 兼 シリコン営業部長
		井上 裕司	カーボンニュートラル戦略本部長

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	公告の方法	電子公告の方法により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載URL (https://www.tokuyama.co.jp/)
定時株主総会	6月	上場取引所	東京証券取引所 プライム市場
株主確定基準日	定時株主総会・期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日	証券コード	4043
株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 [郵便物送付先] 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 [電話照会先]0120-232-711 (通話料無料)		

「株主総会資料」書面をご希望の場合は、お手続きが必要です。

株主総会資料の電子提供制度が開始されたことに伴い、2024年の当社株主総会資料を書面でお受け取りをご希望される場合は、2024年3月31日までにお取引のある証券会社又は上記株主名簿管理人を通じて、「書面交付請求」のお手続きをお取りいただく必要がございます。

株式会社トクヤマ

<https://www.tokuyama.co.jp/> 〒745-8648 山口県周南市御影町1-1

お問い合わせ等ございましたら、下記の番号にご連絡ください。

TEL. 0834-34-2000 (総務グループダイヤルイン)